

骨折の地域差

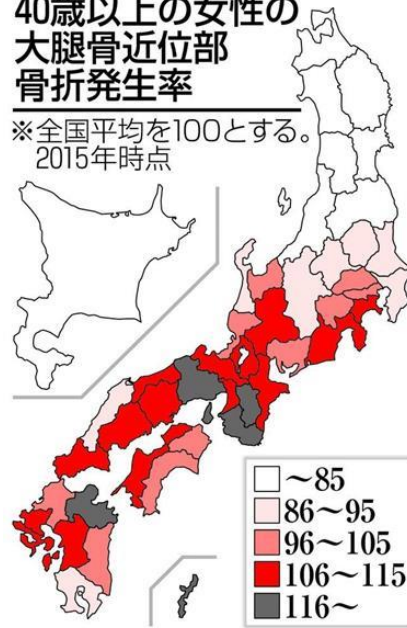
骨折には地域差があるということをご存じでしょうか。冬型気圧配置と同じ西高東低です（上図）。

原因ははっきり分かっていません。一説には納豆の消費量と関係があるということです。納豆といえば茨城県水戸市ですが、86～95と全国平均以下です。納豆にはビタミンKが多く含まれており、骨形成促進、骨吸収抑制作用があり、骨粗鬆症の予防になります。

骨粗鬆症のリスクとしては閉経によるホルモン障害だけでなく、やせ型の体型、運動量が少ない等があります。糖尿病、呼吸器疾患では骨折のリスクがあがります。当院では、糖尿病、腎臓病、ワーファリン治療、肺疾患、アルコール多飲、胃切除後、内分泌疾患などが原因となる続発性骨粗鬆症の予防に力を入れています（下図）。骨密度の継続的な観察に是非ご利用ください。

40歳以上の女性の 大腿骨近位部 骨折発生率

※全国平均を100とする。
2015年時点



<骨密度測定装置 GE 社 Prodigy>



4月より当院に導入しました。日本骨粗鬆学会のガイドラインに沿った大腿骨、腰椎の骨密度を直接測定できます。

院長自己紹介

○名前 清水 一郎 S43年生まれ、51歳
6人家族

○出身地 島根県松江市（錦織圭と同郷）

○経歴 H6年 九州大学医学部卒業
九大病院、産業医科大学、飯塚病院、九州労災病院などで勤務

H14~H17 マサチューセッツ総合病院勤務
（研究留学・10報以上の英語論文を執筆）

○趣味 テニス・マラソン
（2016, 2017, 2018 下関海響マラソン参加。ベストタイム 4 時間半）・英語指導
（子どもに 10 年指導）



○専門 日本循環器学会専門医

○資格等 認知症サポート医
医療安全管理者認定医
看護師特定行為研修指導医
英検 1 級（2018 年）
TOEIC 930 点（2018 年）
小型船舶免許